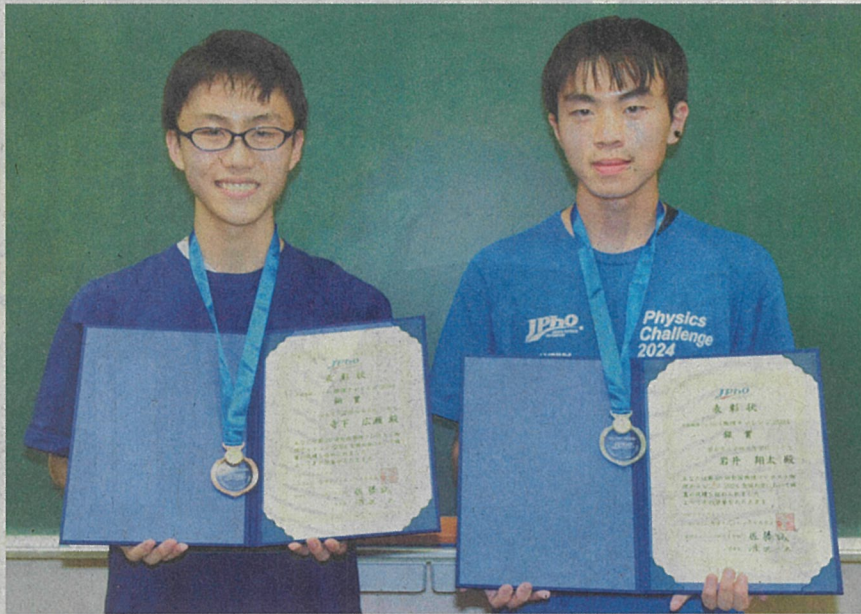


岩井さん「銀」、寺下さん「銅」

全国物理コンテスト



努力を続け銀賞を受賞した岩井さん(左)と銅賞受賞の寺下さん

第20回全国物理コンテスト物理チャレンジで、安積高3年の岩井翔太さんが銀賞、寺下広瀬さんが銅賞を受賞した。物理部で3年間刺激し合い、切磋琢磨してきた2人。全国の強豪が集まる舞台でこれまでの成果を発揮し、上位入賞をつかんだ。

物理チャレンジは物理オリンピック日本委員会の主催。全国の中学、高校生らを対象に、物理の面白さや楽しさを体験してもらうコンテストで、物理オリンピック国際大会の日本代表選手(高校2年生以下)選考も兼ねている。実験課題と理論問題の第1チャレンジを突破した約100人が8月20〜23日に兵庫県で行われた第2チャレンジに出

場、5時間ずつの実験、理論の各問題に挑んだ。本番に向けて14年分の過去問を解き、万全の準備してきたという岩井さん。昨年より難しかったという理論問題に苦戦したものの、実験問題は「昨年の反省を生かし、時間内に効率良く取り組むことができた。苦労が報われた」と振り返る。

寺下さんは「実験が手際良くいかなかった」と悔しがるが、理論では「自分だけでなく、周りも苦戦しているはず」と考え、精いっぱいチャレンジした。大会期間中は物理を通じてイベントなども行われ、全国の精鋭たちと交流を深めた2人。物理部の活動は今回で引退となった。担当

の千葉惇教諭は「2人とも興味に向かって突き詰めて考え抜くタイプで、3年間頑張ってくれた」とたたえた。「大学に進んでからも、物理や数学を究めていきたい」と寺下さん。岩井さんは「目標に向かって、より専門的な内容の数学に取り組んでいきたい」と抱負を語った。



充実した活動に向けて意気込む学生

富岡の将来 学生考える

町内企業で5人が就業体験

桜美林大や東北芸工大、東工大大学院の学生5人が富岡町内の企業と協働し、町の将来を考える「地域協働型学生インターンシップ2024夏」に取り組んでいる。9日まで滞在し、特産品開発や販路開拓、施設開発のアイデアを練る。受け入れ先はバウムハウスヨノモリ(マルゼン商店)と報徳バス富岡営業所、環境省特定廃棄物立情報館「リプルンふくしま」。学生が東日本大震災と東京電力福島第1原発事故からの復興を進める町の現状や課題を学んで活動していく。全体ガイダンスが8月27日、トータルサポートセンターとみおかで行われた。報徳バスで活動する福島市

ひと サンデー

human

山市の郡山
ビューホテ
ルアネット
スで行われ
た。



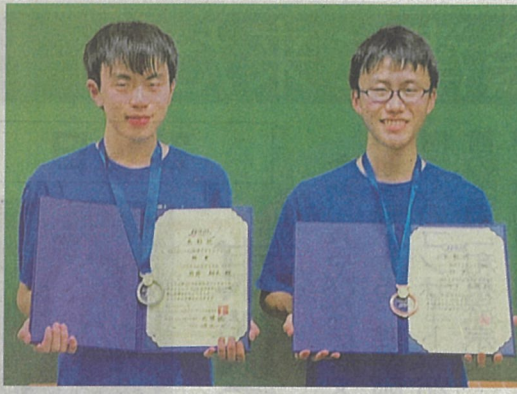
代表して宣誓す

約60人が出席した。新谷崇一県レクリエーション協会長、佐藤みゆき県文化スポーツ局長、村上二郎郡山市副市長らがあいさつした。参加者を代表し、岩間裕子さん(郡山市

板倉素子(県スポーツウエルネス吹矢協会)坂本みゆき、原恵(福祉レクリエーションネットワークinふくしま)佐久間理子(福島市レクリエーション協会)岩間裕子、野村和子(郡山市スポーツ・レクリエーション協会)秋葉律子、石井真木夫、石神秀子、上野真土香、斎藤弘子、佐藤公、佐野幸子、瀬谷節子、谷口いせの、高橋千恵子、中村美智子(伊達市レクリエーション協会)菅野京子(日本フォークダンス連盟東北支部日本民謡部)

は8月24、25の両日、磐梯町の磐梯一小などで開かれ、男子は磐梯ブラックダイヤモンドU12(磐梯町)が優勝した。実行委員会の主催。県内外から男女各12チームが出場し、予選リーグと順位別トーナメントで争った。

▽男子①磐梯ブラックダイヤモンドU12(磐梯)②泉



銀賞に輝いた岩井さん(左)と銅賞を受賞した寺下さん

安積高 岩井さん銀、寺下さん銅 兵庫で「物理チャレンジ」

高校生らが物理の実力を競う「物理チャレンジ2024」第2チャレンジは3日間、兵庫県佐用町のSpring8で開かれ、本県からは郡山市の安積高物理部の岩井翔太さん(3年)が銀賞、寺下瀨さん(同)が銅賞に選ばれた。物理チャレンジはオンラインの第1チャレンジに全国から約千人

が参加。選ばれた約100人が第2チャレンジに臨み、理論問題と実験問題に挑んだ。岩井さんは「3回目の挑戦。実験問題に手応えを感じた。受賞でき、自信につながった」、寺下さんは「岩井さんと切磋琢磨(せつさたくま)し、学んできた。今後も物理の世界を突き詰めた」と喜びを語った。

ワイド



福島民報 きのうの地方版
fukushima minpo-online
オンライン新聞にすべて掲載

いわき 田人でのインターン成果発表
相双 新彗星発見天文家の功績学ぶ
会津 若松の芦ノ牧温泉駅がCF
県南 吉子川小創立150周年を祝う
郡山 郡山で中学英語弁論大会
県北 浄土平登り真尋ちゃん景品を

浪江 子どもの創造性を育む「STEAM」教育に関する研究センターで開かれ、教職員が効果的な学びの



STEAM教育に理解を深める教職員

子どもがSTEAM教育に関する研究センターで開かれ、教職員が効果的な学びの在り方を探った。創造性を育むSTEAM(STEAM)教育に関する研究センターが設定された12市町村の中小学校、義務教育学校、養育教育施設を対象に、県教委と福島イン

子どもはSTEAM教育に関する研究センターで開かれ、教職員が効果的な学びの在り方を探った。創造性を育むSTEAM(STEAM)教育に関する研究センターが設定された12市町村の中小学校、義務教育施設を対象に、県教委と福島イン

「喜多方プレミアム日本酒セット」の発送作業は8月28日、喜多方市の「喜多方プレミアム日本酒場」で行われた。申し込みを受けた約200セットを関係者約20人が手際よく梱包(こんぼう)した。

「喜多方プレミアム日本酒場」で行われた。申し込みを受けた約200セットを関係者約20人が手際よく梱包(こんぼう)した。喜多方プレミアムブランド化推進委員会の地酒普及事業。喜多方市と西会津町の合わせて10蔵元の市場に流通していない限定品の純米吟醸酒を組み合わせている。喜多方産のアスパラガス500gと各日本酒の特徴などを記載した「指南書」が付いている。

係者 発送作業に取り組む関係者



ボ(会津若松)④本宮(バス)イヤモンズU12(磐梯)

プレーする選手

だった。